

# 第 11 回日本マイクロ・ナノバブル学会学術総会

— マイクロ・ナノバブルの効果と将来展望 —  
— 社会実装への課題 —

## 一般演題募集要項

演題登録は 2023 年 8 月 1 日より本会 Web ページ上で受付け開始

### 【講演会場】

日本獣医生命科学大学第一校舎  
メイン会場「E 棟 111 教室」  
東京都武蔵野市境南町 1-7-1

主催 一般社団法人日本マイクロ・ナノバブル学会

## 《一般演題募集要項》

第11回学術総会開催にあたり、一般演題（口頭発表）を募集いたします。一般演題応募は本会 Web ページよりオンラインでの登録となります。下記要領をご一読の上、奮ってご応募ください。多数の研究発表のご応募をお待ちしています。

第11回学術総会

大会長 小林史幸

(一社)日本マイクロ・ナノバブル学会 評議員/農学・環境部会

日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 食品科学科 食品工学教室 准教授

### (1) 募集期間

2023 年 8 月 1 日（火）～ 10 月 31 日（火）正午 締め切り

### (2) 応募資格

マイクロ・ナノバブルに関する研究発表であれば、会員・一般・学生を問いません。

### (3) 発表形式

口頭発表 : 約 15 分（質疑応答約 3 分程度を含む）

### (4) 応募方法

- ① 学会 Web ページよりオンライン登録のみとなりますので、演題登録画面からお申込み下さい。
- ② 抄録原稿（A4 縦 1 枚）を別紙の作成要領に従って作成し、登録フォームの指定箇所に添付してください。

### (5) 抄録原稿・発表スライド作成の留意点

- ① 研究に用いたマイクロ・ナノバブル水の「気体の種類」、「粒径」、「密度」、「溶媒種あるいは製品名」を本文中、若しくは抄録原稿、発表用スライドの最後に記載して下さい。
- ② ご自身の PC で発表される方は、HDMI 接続ができることをご確認下さい。接続に不安のある方、もしくは当日学会が用意する PC を用いられる方は、発表用スライド（MS PPT）データを USB 等 にてご持参ください。演壇上に用意する PC は「Windows10、MS Office2021、他ソフト」を予定しております。
- ③ 発表用スライドの PDF 版を当日までに下記までご提出ください。

※ご不明の点は総会事務局にお問い合わせください。 E-mail : [info@mnbsc.jp](mailto:info@mnbsc.jp)

## (6) 採否の方法および通知

- ① 演題の採否は抄録査読委員の意見により大会長が決定します。
- ② 採否の結果は 後日メールにて通知いたします。

## (7) 発表

- ① 発表する時間帯・セッションは、演題選定後に決定させていただきます。
- ② 各発表者（筆頭者）の氏名、演題名は最終プログラム決定後に本会 Web ページ上に掲載します。

### ■個人情報・著作権取扱について

日本マイクロ・ナノバブル学会のガイドラインおよび取扱規程によります。

<http://mnbsc.jp/admission> 著作権取扱規定（ページ最後尾リンク）

<http://mnbsc.jp/announce> 個人情報の取扱（ページ最後尾リンク）

### ★演題登録に関する注意事項

- ① 学会発表内容に特定の企業あるいは団体との利益相反（Conflict of Interest「COI」）が存在しないことを宣言いただくために、演題登録フォームの確認チェックボックスにチェック（COI は存在しません ☒）をお願いします。
- ② 抄録の著作権については「日本マイクロ・ナノバブル学会著作権取扱規程」に依ります。
  - ▶ 発表内容を抄録提出の形でエントリーいただく際に、抄録はすべて学会に帰属する事に同意する旨のチェックボックス（同意☒）にチェックをしてください。
- ③ 発表内容の不正防止の観点より、第 11 回学術総会ではデジタル媒体として画像および音声記録をさせていただきます。この記録は原則外部公開を行いませんが、学会発表内容に疑義が生じた場合など、外部公開の必要性が生じた場合、発表者に了解を得た上で公開させていただきます場合があります。
  - ▶ 本事項についても、記録主旨を記載した内容に同意する旨のチェックボックス（同意☒）にチェックをしていただきます。管理保全は総会事務局にて行います。尚、上記に同意いただけない演題は採択対象から外させていただきますので予めご了承願います。

備考：採択された演題の抄録原稿は第 11 回学術総会プログラム・抄録集に掲載いたします。

以上

(別紙) 第11回 日本マイクロ・ナノバブル学会学術総会抄録原稿作成要領・留意点

抄録は『演題名』『副題』任意『演者名』『所属名』『本文』『キーワード』任意

『研究に用いたマイクロ・ナノバブル水』必須『参考文献名』で構成

(作成例)


 25mm  
 ○○○○ (演題名: MS ゴシック 18pt)  
 -○○○○- (副題: MS ゴシック 14pt)

○玉置雅彦<sup>1</sup>，小林史幸<sup>2</sup> (MS 明朝 10.5pt、筆頭演者(発表者)の前に○印)

<sup>1</sup> 摂南大学農学部, <sup>2</sup> 日本獣医生命科学大学応用生命科学部

(以下本文、基本全て MS 明朝 10.5pt)

**【緒言】** ここに示すような小見出しをつけ、改行せずに本文を記載する。○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○<sup>[1]</sup>。 ○○○○○○ 次の小見出しの前に改行を入れる。

**【目的】**句読点は全角ピリオド「。」と全角カンマ「、」を使う。

**【方法】**英数字 abc は半角に統一する。

[illegible]

**【考察】**抄録原稿のファイル名は必ず半角英数字、フルネームとする。

**【結言】**

25mm

25mm

キーワード：〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇（キーワードは任意で 3 つ程度、カンマで区切る）

(研究に用いたマイクロ・ナノバブル水) (以下を本文中または参考文献の前に必ず記載)  
「気体の種類」、「粒径」、「密度」、「溶媒種あるいは製品名」

## 参考文献

[1] 参考文献名は抄録原稿の最後にまとめて記載。 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

[2] 本文中での参照は該当部の末尾に上付き括弧<sup>[1]</sup>で数字形式にて示す。○○○○○○○○

[3] ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

[4] ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

[5] ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

[6] ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

25mm